

岸本直樹教授、竹内淑恵教授 退職記念号によせて

長年にわたって本学部の教育、研究等に貢献された岸本直樹教授、竹内淑恵教授がこの3月に定年退職を迎えられました。法政大学経営学会では、お二人の先生のご功勞に敬意を表し、『経営志林』の月号を退職記念号として刊行することとしました。

岸本先生は、1979年3月東京大学経済学部経営学科を卒業後、山一証券経済研究所での職務経験を経て1987年10月ニューヨーク大学経営大学院博士課程を修了されました。1991年12月までデューク大学経営大学院で Assistant Professor を、2001年3月まで筑波大学社会工学系助教授を務められた後、2001年4月に本学部に教授として採用され、2025年3月定年退職されるまでの24年間奉職されました。

教育においては、学部の「証券経済論」（後に「投資入門」・「ポートフォリオ理論入門」と改称）をはじめ、学部と大学院で主にファイナンス関連科目を担当されました。先生の主な研究領域は資産価格付けとその周辺ですが、特に経路依存型証券の価格付け理論や証券化についての学術論文は国際的にも高く評価されています。また先生は学会誌編集委員を歴任するなど、日本ファイナンス学会の発展にも大きく貢献されました。さらに、学内行政面では、経営学研究科長に就かれ、米国の経営大学院での教育経験を踏まえた建設的な大学院運営に尽力されました。個人的には教育研究分野が同じであることもあり、先生から多くのことを学ばせていただきました。

竹内先生は、1978年3月お茶の水女子大学家政学部食物学科を卒業後、ライオン株式会社に勤めながら学業に邁進され、1996年3月筑波大学大学院経営・政策科学研究科経営システム科学専攻修士課程と1999年3月同研究科企業科学専攻博士課程をそれぞれ修了されました。その後株式会社電通 EYE での勤務、非常勤講師の兼任などを経て、2003年4月に本学部に教授として採用され、2025年3月定年退職されるまでの22年間奉職されました。

教育においては、学部の「マーケティング論」、「マーケティング・マネジメント論」をはじめ、学部と大学院で主にマーケティング関連科目を担当されました。研究面では、広告、ブランド、消費者行動にまつわる数多くの著書、論文を執筆され、日本のマーケティング研究の発展に大いに寄与されました。また先生は学会理事を歴任するなど、日本広告学会の発展にも大きく関与されました。さらに、経営学部長、経営学研究科長をはじめ、学内外各種委員会の役職に就くなど、行政・社会活動の面でも大いに貢献されました。個人的には、折に触れて先生から思慮深いアドバイスをいただき、大きな励みになりました。

このように、岸本直樹教授と竹内淑恵教授は長きにわたって教育、研究、行政、社会活動に尽力されることで本学部と本学の発展に計り知れない貢献をなされました。理論と実際が行き来するお二方の講義・研究スタイルは、本学部の教育研究活動において注目すべき道標であると思います。この場を借りてこれまでのご貢献・ご指導に深く感謝申し上げます。ご退職後も健康に留意され、益々のご活躍をされますよう心より願っております。

2025年4月

法政大学経営学部長

金 瑯 晋